

みなとみらい21 Information

2004
Vol. 71



みなとみらい線 開通記念特集

渋谷からみなとみらいまで直通特急で約30分

横浜駅からみなとみらい21を經由し、元町・中華街駅までを結ぶ鉄道「みなとみらい線」が、平成16年2月1日、いよいよ開業します。本線は東急東横線との相互直通運転で、乗り換えなしに渋谷・みなとみらい間を約30分(特急の場合)で結びます。

1985年、運輸政策審議会の答申により鉄道敷設計画が始まって以来、89年には事業主体である横浜高速鉄道(株)が設立され、翌90年には第一種鉄道事業免許を取得、92年には工事に着手した一大事業が、いよいよ完成します。工事開始からほぼ12年を経て平成16年2月1日に開業する路線は、横浜駅から順に新高島駅、みなとみらい駅、馬車道駅、日本大通り駅(県庁・大さん橋)、元町・中華街駅(山下公園)と連なる全線地下運行の鉄道で、横浜駅から元町・中華街駅までの延長4.1kmを約7分(特急)で結びます。また、横浜駅からは東急東横線との相互乗り入れ運転を行うため、特急電車利用の場合、渋谷・みなとみらい間が約30分と、従来にはない短時間で移動することが可能になりました。

横浜駅周辺や元町・中華街といった古くから愛されている横浜の顔と新しい街みなとみらいが一体化され、ビジネスや生活の面で、さまざまな効果が期待されています。



各駅とも独自性のある個性的デザイン

未来へと導く1隻の船のような駅みなとみらい駅

みなとみらい線では、駅のデザイン自体にも、従来の鉄道建設の常識を覆すかのような斬新な試みを行っています。みなとみらい駅のデザインコンセプトは「巨大な地下チューブ空間の『船』が躍動する」というもの。

地下の土木空間全体を交通の装置体として捉えることにより、単に電車を待ち、乗降するという機能を提供するに留まらず、駅を利用する人々に安らぎや楽しみをも提供

できる未来型の駅になっています。基調となる色彩は白と青、素材はアルミです。地下3階には巨大な地下チューブ空間の「船」をモチーフにした自由通路があり、人々が気軽に触れ合う場となっています。また、プラットホームにも青と白のストライプを用い、換気ダクトの形状に「船」の造形を反映するなど、設計者である早川邦彦氏の斬新なアイデアが十分に活かされています。



コンコースのアーチ空間



クイーンズスクエア横浜地下3階からホームが一望

シャープで洗練されたモダンな駅空間新高島駅

新高島駅の設計を担当したのも、他の駅同様、数々の実績を残してきた建築家の一人、山下昌彦氏。同氏が考案したこの駅のデザインコンセプトは、「モチーフは『海』と『モダン』。『近未来の街』を先取り」というものです。

黒とシルバーを基調とする色彩で、駅空間をシャープで都会的な雰囲気です。

また、基調となる素材にガラスや金属を用いているため、洗練された空間の演出は、効果をより一層高めているようです。また、この駅の場合は、地下2階に改札口があり、プラットホームは地下5階にありますが、エスカレーターは直通なので移動は極めて容易です。プラットホームへ続く巨大な吹き抜け空間はまさに近未来への通路を思わせる魅惑の構造です。



海を表現したステンドグラス



上りプラットホーム

伝統と歴史を思わせる重厚な造りの駅馬車道駅

馬車道駅のデザインコンセプトは「新・旧が交錯する街に過去と未来が対比・融合」というもの。そのコンセプトを実現するためのさまざまな工夫が施され、利用する人々に過去と未来の双方を体感させてくれます。

基調となる色彩は白、素材はレンガです。改札口付近は円形の空間で吹き抜けになっていて、ドーム型の重厚感あふれる天井の造りは駅の中心を表しています。また、設計者の内藤廣氏は、駅のコンコースに昔この地にあった横浜銀行旧本店のレリーフなど歴史と伝統を示す要素を配置し、過去と未来との対比・融合を表現しています。

プラットホームの柱や壁にもレンガを基調としたデザインが施され、その落ち着いた色彩は、利用者に安らぎを与えてくれます。近代建築が醸し出す伝統と、未来を体現する斬新さが融合した駅空間は比類ない出来栄です。



特徴的なドーム天井の改札口付近



横浜銀行旧本店のレリーフ

Barrier free

バリアフリー対策も万全です



車椅子スペース車外表示

みなとみらい線ではバリアフリーにおいても、最新の基準に則った万全の対策を講じています。各駅に1系統以上のエレベーターを設置、床面は段差のない円滑な設計となっているほか、視覚障害者向けには点字誘導ブロックに最新の棒状ストッパーを設置してより安全な環境を提供。構内の曲がり角や分岐点には総合音声案内があり、ボタンひとつで改札口やトイレなどの位置を音声で知ることができます。

各駅にふたつ設置された多機能トイレは座ったまま手洗いができる手洗い台のほか、市長を囲むランチミーティングで市民から要望のあった、大人のためのオムツ交換用折畳式ベッドなども設置され、より多角的な視点からのバリアフリーを実現しています。

また、車椅子スペースの位置を知らせる車外表示を車両の両側に設け、各ドアには号車とドア位置を案内する点字シールも貼るなど車両自体にも一歩進んだバリアフリーを実現しました。



点字シール

Interview

みなとみらい線に期待する3者の声

Interview

地下鉄開業で「アット!」も第2のオープンです



クィーンズスクエア横浜「アット!」
副総支配人
松永知樹さん

「アット!」が入っているクィーンズスクエア横浜の真下にみなとみらい駅ができることから、「アット!」は来街者が最初にアクセスし、最後に立ち寄る施設になるとも言えます。そこには当然、大きなビジネスチャンスを期待できますから地下鉄の開業は私達にとってはゴールではなく、待ちに待ったスタートなのです。これまで、東横線の沿線など広い地域からお客様にお越しいただきましたが、今回、渋谷からみなとみらいまでの直通運転になることで、さらにお客様が足を運んでくださる回数が増えると考えています。

2月1日の開業に合わせ、店舗のリニューアルなども進めてきました。地下鉄開業で、私達も第2のオープンを迎えるわけですね。



ショッピングセンター
クィーンズスクエア横浜「アット!」

Interview

鉄道インフラの整備は街全体のアピールに



三菱地所ビルマネジメント(株)
PM統括室 室長代理
太田清さん
横浜ランドマークタワーや
クィーンズタワーAの
運営管理を担当

みなとみらい線という鉄道の整備には、みなとみらい121全体の開発がさらにスピードアップしていくことを内外にアピールできるという大きなメリットがあると思います。旧高島ヤード地区など、鉄道の開通を前提としているエリアもあり、鉄道の開業は街全体の今後にとって、非常に大きなインパクトをもたらすでしょう。

成長過程にあるこの街に新たな魅力が付加されたことのパブリシティ効果は大きく、ランドマークタワーやクィーンズタワーAのテナントの方々からもアクセスの選択肢が増えることに期待する声をたくさん頂いています。

これを機に多くの方々へみなとみらい121という街に足を運んで頂き、更に様々な企業の集積が高まることを期待しています。



横浜ランドマークタワー

Interview

みなとみらい線開業を契機としたみなとみらい121地区の街づくりについて

横浜市都市計画局



2月1日に、待望のみなとみらい線が開業し、渋谷から東急東横線と相互直通で、横浜駅から、当地区を通り、元町・中華街までまいります。同線の開業を契機に、当地区への交通利便性が高まるとともに、よりいっそう横浜都心部が一体化され、沿線の街が益々発展することを願っております。

現在、街づくりは横浜駅方面の「旧高島ヤード地区」に展開中で、基盤整備はいよいよ最後の仕上げの段階を迎えるとともに、土地利用が可能となった地区から順次土地活用を進めております。昨年7月より、「旧高島ヤード地区」につきましては、開発事業者を募集しており、公募を行っている街区等は、図のとおりです。また、公募条件や新たに公募を予定する街区等につきまして

は、ホームページ「横浜みなとみらい121」(<http://www.minatomirai21.com/>)にて、情報提供をしております。

また、現在、当地区ではみなとみらい線開業を契機に、「新高島駅」を中心に、賑わいと活力ある街づくりを推進するため、一定の要件を満たす企業の進出について市税の軽減や助成金交付の検討を進めております。

これからも「みなとみらい121地区」が、未来においても常に注目され、世界に誇れる素晴らしい街となりますよう取り組んでまいりますので、皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

(本文の内容は、平成16年1月15日現在の状況です)

トピックス

みなとみらい21内のさまざまなエリアに、 街の新しい顔が次々にオープンしています



A 県民共済プラザビル

桜木町駅から横浜ランドマークタワーを結ぶ、動く歩道に直結する好立地のビル。神奈川県民共済生活協同組合が事業主体となるこのビルは、結婚式場やホールを備えた複合ビルとして2004年3月にオープン予定です。



B M.M.TOWERS

2003年2月に1期棟が竣工した地区最初の集合住宅は、2期棟・3期棟も竣工し、地上30階、地下1階、3棟計で全862戸を供給する日本最大級の超高層「免震」都市型マンションが誕生しました。



C 富士ソフトABCビル

桜木町駅前の27街区に2004年3月オープン予定のオフィスビル。富士ソフトABC(株)が事業主体であり、同社の本社となるこのビルは、地上21階で、オフィスのほかに店舗やギャラリーなどを備えています。



D 横浜デザインセンタービル(仮称)

「新しい生活文化発信拠点」というコンセプトのもとに、(有)横浜デザインセンターが事業主体となる商業系ビル。2004年4月オープンのこのビルは、地上12階、地下4階で、店舗やショールームなどが入る予定です。



イベント

みなとみらい線開業を契機としたイベント開催

横浜都心部では、商店街を始めとする地元団体、交通機関、行政関連団体等が一体となり「みなとみらい線開業等を契機とした都心部活性化連絡協議会」を結成して、鉄道開業に合わせ横浜の街をさらに魅力的にするためのさまざまな取り組みを行っています。



みなとみらい121では、これらの動きに合わせて昨年6月にイベント実行委員会が設立され、2003年のクリスマスから2004年2月のみなとみらい線開業、そして春休みに向けて「横浜ときめき みなとみらい」のウェルカム・ロゴマークのもとでキャンペーンを開始し、さまざまなイベントを開催しています。

街づくり20周年記念、「TV・映画のみなとみらい展」開催

1983(昭和58)年に着工したみなとみらい21事業の20周年を記念して、2003年11月22日から24日の3日間、街の歴史や魅力を紹介する「テレビ・映画のみなとみらい展」や市民コンサートなどを開催しました。



みなとみらい線開業時にはクイーンズスクエア横浜内のみなとみらいギャラリーと新高島駅で写真展を開催します。

「東 山魁夷展—ひとすじの道—」開催中

1999(平成11)年に逝去した日本画家、東山魁夷の没後初めての総合的な回顧展を横浜美術館(みなとみらい駅美術館口から徒歩3分)にて開催しています。



《たにま》1953年
東京国立近代美術館蔵

横浜F・マリノスの優勝パレードに3万5000人

第1、第2ステージ優勝でJ1を完全制覇した横浜F・マリノスの優勝記念パレードが2003年12月6日、みなとみらい121で開催されました。



観衆は3万5000人、中田横浜市長(横浜熱闘倶楽部会長)や日産自動車(株)カルロス・ゴーン社長兼最高経営責任者もお祝いに駆けつけました。



ホームページアドレス
<http://www.minatomirai21.com>

350万市民が
ごみ減量・
リサイクルに挑戦!
ヨコハマはG30

企画・発行 株式会社 横浜みなとみらい21
横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号 クイーンズタワーC11階 〒220-0012 TEL(045)682-0021 FAX(045)682-4400
横浜市都市計画局みなとみらい21推進部
横浜市中区港町1丁目1番地 〒231-0017 TEL(045)671-3501 FAX(045)651-3164
横浜市港湾局臨海事業部
横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル 〒231-0023 TEL(045)671-7341 FAX(045)651-7996

2004 JAN VOL.71
2004(平成16)年1月発行



渋谷 ↔ 元町・中華街 35分(特急)
2004年2月1日開通

